

21世紀文明シンポジウムの開催経緯

■は防災・減災分野

年度	開催地	テーマ	基調講演登壇者
H18	神戸市	これからの50年、日本は何をめざすかー地方シンクタンクの役割ー	新野幸次郎（神戸都市問題研究所理事長）
H19	神戸市	東アジアと共に生きる21世紀の日本	樊 勇明（復旦大学日本研究センター教授）
H20	神戸市	環境問題と日本の今後の取組 21世紀の日本人の生き方を考えるーいま問われる規範意識とはー	小野 恭士（外務省特命全権大使（地球環境問題担当）） 曾野 綾子（小説家）
H21	神戸市	長寿国にっぽん活性化を語る 災害をめぐる国際協力の仕組みづくり	貝原 俊民 大島 賢三（国際協力機構副理事長）
H22	神戸市	これからの「新しい公」を考えるー共助のケアシステムの構築に向けてー スーパー広域災害・スーパー都市災害と危機管理	鷺田 清一（大阪大学総長） 河田 恵昭
H23	神戸市	震災復興と新しい共生社会の実現に向けてー長寿国にっぽんと地域社会の活性化を目指してー	鎌田 實（諏訪中央病院名誉院長）
H24	神戸市	NPOと企業がともに創る新しい市民社会ー「新しい公」の担い手を考えるー	谷本 寛治（早稲田大学商学部教授）
H25	東京都	減災～あすへの備え	①河田恵昭②奥山恵美子（仙台市長）
H26	神戸市	減災～あすへの備え次なる大災害と危機管理	①船橋 洋一（日本再建イニシアティブ理事長）②ジェームズ・キッシュ（米連邦緊急事態管理庁（FEMA）副長官補佐）
H27	仙台市	減災ー東日本大震災から5年ー 〔第1部〕防災減災「震災5年の誓い犠牲を繰り返さないために」 〔第2部〕復興検証「東日本大震災に学ぶ巨大災害への備え」	〔第1部〕今村文彦（東北大学災害科学国際研究所所長） 〔第2部〕五百旗頭真
H28	熊本市	減災と創造的復興～熊本地震の経験と教訓を踏まえて	平田 直（東京大学地震研究所地震予知研究センター長） 〔基調報告〕蒲島郁夫（熊本県知事）
H29	名古屋市	産学官民連携による減災戦略～迫り来る南海トラフ地震に備えて	福和伸夫（名古屋大学減災連携センター長）
H30	新潟市	新潟県中越地震15年～人口減少・高齢社会を見据えた震災復興と教訓の伝承	平井 邦彦（長岡造形大学名誉教授）
R1	神戸市	阪神・淡路大震災25年～創造的復興を総括し未来へ提言する	①齋藤 富雄（神戸山手大学学長）②室崎 益輝
R2	仙台市	東日本大震災から10年～復興の教訓と未来への展望	①岡本 全勝（元復興庁事務次官）②御厨 貴
R3	東京都	迫り来る巨大災害への備え～首都直下地震や南海トラフ地震の減災復興戦略	①中林 一樹（東京都立大学名誉教授） ②米田 雅子（防災学術連携体代表幹事）
R4	大阪市	気候変動・地球環境問題への対応 ～今何が起き、どう向き合うべきか～	江守 正多（東京大学未来ビジョン研究センター教授）
R5	神戸市	気候変動問題と社会の大転換	斎藤 幸平（東京大学大学院総合文化研究科教授）
R6	神戸市	気候危機と社会の行方	諸富 徹（京都大学大学院経済学研究科教授）
R7	神戸市	気候変動対策 ～未来を守るための私たちの選択～	長谷川知子（立命館大学総合科学技術研究機構教授）

減災社会シンポジウム改編後

